

本市の学校施設の現状と課題

視点	現状・課題	例	
学校教育	規模 普通教室の面積が定まっていない 児童・生徒の体格向上、教材の大型化などへの対応	普通教室面積平均 第一小 68 m ² 井之頭小 58 m ²	
		コンピュータ教室面積 境南小 138 m ² 関前南小 60 m ²	
	配置	配置（ゾーニング）の機能性 裏面参照	
	教育環境	新たな学習形態（アクティブラーニングなど）への対応	集団による講義を前提とした普通教室 電源不足
特別支援教育推進への対応		バリアフリー非対応施設の残存 通常学級と特別支援学級の交流がしやすい配置の検討が必要	
共通	公共施設性能 必置の設備について学校ごとの差がある	防災性能：避難所機能の配置や容量 環境性能：省エネルギー設備（太陽光発電など）の稼働状況 福祉性能：バリアフリーへの対応	
	整備水準 学校により整備水準が異なる	m ² あたり建築単価 千川小学校（平7築） 約46万円 大野田小学校（平17築） 約26万円	
	遵法性	既存不適格など	日影規制：隣接建物との距離をより広く取る必要
		改築時に現在と同じ許可を得られない可能性	本宿小学校 絶対高さ制限 10m から 17.7m へ緩和
	安全性 セキュリティ対策について学校ごとに差がある	電子錠、防犯カメラ、内線電話網など	
	複合化・多機能化 学校と他の公共施設の管理区分が明確ではない 学校施設開放の範囲が事実上学校の裁量に委ねられている	裏面参照 現在の複合化施設：地域子ども館、避難所 1校あたり平均余裕教室数 小学校 3室 中学校 6室	

6年2組		6年1組		5年2組		5年1組		パソコンルーム	準備室	音楽室	4階	
豆の木 ルーム	配膳室	男子 トイレ	女子 トイレ	かわせみ教室		手洗い場			楽器			
少人数教室 (算数)		4年2組		4年1組		3年2組		3年1組		家庭科室	3階	
女子更衣室	配膳室	男子 トイレ	女子 トイレ	書庫	教材室	手洗い場				図書室		
保健室	放送室	職員室		会議室	校長室	事務室	図工室		2階			
印刷室	更衣室	配膳室	女子 職員 トイレ	男子 職員 トイレ	多目的室		用務員室	工作室				
低学年図書室 (プレイルーム)		2年2組		2年1組		1年2組		1年1組		理科 準備室	理科室	1階
手洗い場	倉庫	昇降口	配膳室	女子 トイレ	男子 トイレ	地域 資料室		教育 相談室	あそべえ			

・パソコンルームと図書室が分離
・学習空間の中心に配置されていない

教室と自由来所型の遊び場「あそべえ」が混在